

社会的理解のアクティビティ

--- Social Understanding Activities ---

2010/08/28

担当：佐藤 朝美

東京大学情報学環 助教

◆本日の内容◆

- 1) 幼児における社会性獲得とは？
- 2) プロジェクト・スペクトラムのアクティビティ【社会的理解編】
- 3) 次回の勉強会予告



1) 幼児における社会性獲得とは？

社会性獲得が意味するものは何？

社会性を育てる為の方法は？

発達心理学辞典によると…

「社会性」(sociability)

人と物との関係ではなく人との関係をもつことができることを、とくに発達研究の文脈で社会性とよぶ。乳児の社会性、社会性の発達などといった用いられ方をする。

関連ワード

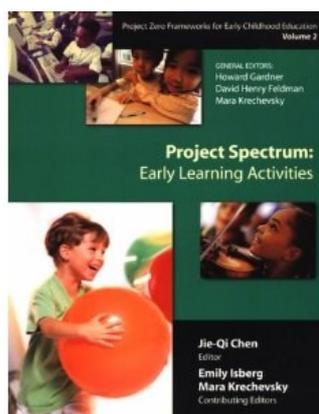
協調性 (harmonious personarity)・社会的スキル (social skill)・社会的役割 (social role)・社会認識 (social thinking)・仲間関係 (peer relation)・道徳性 (morality)

2) プロジェクト・スペクトラムのアクティビティ【社会的理解編】

今日紹介する本

「Project Spectrum : Early Learning Activities

(Project Zero Frameworks for Early Childhood Education, Vol 2)」



---CONTENTS---

1. Mechanics and Construction Activities
2. Science Activities
3. Musci Activities
4. Movement Activities
5. Math Activities
6. Social Understanding Activities ★
7. Language Activities
8. Visual Arts Activites

【Social Understanding Activities】(p.169-194)

この章では、子どもたちの社会的学習を促進し、社会的領域の強みを明らかにするような活動を紹介します。

カギとなる能力は以下の3つに分けられる。

1) 自己理解

- ・ 自分の能力、スキル、興味や苦手なことについて理解できる
- ・ 自分の感情や経験、達成したことなどについて振り返ることができる
- ・ これらの振り返りから自分の行動を理解したり調整したりできる
- ・ 得意な分野や苦手なことにたいする要因について洞察することができる

2) 他者理解

- ・ 友達への理解を示すことができる

- ・ 友達に親しくなろうとできる
- ・ 友達の考えていること、感情、出来ることなどを認識する
- ・ 活動の中で友達とうまくやっっていこうとする

3) 社会的役割への理解

リーダー：

- ・ 活動を主導し、まとめることができる
- ・ お友達をまとめることができる
- ・ 他の友達に役割を持たせることができる
- ・ 活動を監督し、管理することができる

ファシリテーター：

- ・ 友達と考えや情報、スキルを共有できる
- ・ 喧嘩を仲介できる
- ・ 遊びに他の友達を誘える
- ・ 他の友達のアイデアを膨らませたり、より詳しく展開させることができる
- ・ 他の友達が困ったら助けてあげる

介護者／友達：

- ・ 怒っている子をなだめることができる
- ・ 他の子の気持ちを敏感に察することができる
- ・ 友達の好き嫌いに理解を示す

教材

■ドラマごっこの洋服とアクセサリ

役割遊び（ごっこ遊び？）で使う洋服やアクセサリを準備する。子どもが家から持ってきて、お古を集めても良い。ただし、女の子同様男の子にも、ジャケットやベルトやベストなどを準備する。アクセサリは、聴診器や郵便屋さんの手紙鞆、指揮棒など、職種が分かるようなものが良い。

■教室モデル

3次元の教室モデルを準備する。スペクトラムの教室モデルは、約 24X15X5 の厚紙で作られ、家具などが、端切れや木や小箱などを用いて飾られる。教室モデルを作成することは、視覚芸術知能のアクティビティでも、言語のアクティビティで用いられる。

■TV

大きなダンボール箱で、テレビに似せて作る。テレビはドラマごっこでも、言語のアクティビティでのレポートごっこにも使用できる。

【Social Understanding Activities】の目次

1) 【自己理解】

1. コラーージュレジュメの作成
2. 宝物箱の作成
3. 指紋スタンプ
4. シルエット描き遊び
5. 感情の回転？感情当て？遊び

2) 【他者理解】

1. 写真による顔認識
2. いない人当てゲーム
3. 糸電話
4. 友達
5. 指人形
6. 写真による感情推測
7. 話の問題解決
8. 病院ごっこ

3) 【社会的役割】

1. クラスの人口調査
2. 誕生パーティ
3. 他クラス訪問
4. チームでチャレンジ！

【活動（家庭編）】

1. 自分の物語づくり
2. 顔の表情づくり遊び

【自己理解】

1. コラージュレジュメの作成 (Collage resume) 小グループ

目的：自己理解、他者理解を助ける

道具：紙、のり、はさみ、写真、古い雑誌、筆記用具

手順：

- ・ コラージュレジュメ（履歴書）の例を示しながら、活動の説明をする。

例)

「これは私の子どもについてのポスターです。ポスターには、本と、ペットと、泳いでいる子どもたちの写真が載せています。なぜかという、私の子どもが興味を持っているものだからです。こういうポスターを、“コラージュレジュメ”と呼びます。レジュメ（履歴書）は、自分がどんな人で、何ができるのかを、他の人に分かってもらうのに役立ちます。大人は履歴書を仕事を探すときにも使います。これから、言葉、絵、写真、図形などを使って、コラージュレジュメを作りましょう！」

- ・ 興味関心、得意なこと、好きな色・食べ物・ペットについての話をしながら、子どもが自分を説明する方法を考える手助けをする。
- ・ 子どもが使う素材についてのアイデアを膨らませる。例えば、集めている野球カードコレクション、好きなキャンディの包み紙、出場したダンス発表会のチケットなどが使えることを伝える。
- ・ 子どもたちに計画と素材集めの時間を与える。保護者達に活動の説明と協力をお願いすることも必要だろう。
(この後、それぞれが作ったコラージュレジュメ（履歴書）を発表・・・)
- ・ 活動終了後、お互いのコラージュレジュメ（履歴書）について話し合ってみる。

その他：

- ・ コラージュレジュメ（履歴書）は、子どもたちがより自分の強みと興味に気付くようになるにつれ、変わっていくもの。
- ・ コラージュレジュメ（履歴書）は展示して保護者などに公開することもできる。

【メモ】

Q. どんな力が伸ばせるか？

Q. 保育園で展開するとしたら？

【自己理解】

2. 宝物箱の作成 (Treasure Chest) 小グループ

目的：思考、アイデア、感情について考える

道具：小さい箱（子ども一人につき一つ）、ステッカー、のり、紙、マーカー

手順：

- ・ 活動を紹介する。子どもたちに、「考え、アイデア、感情はとても特別なもの。なぜならそれが一人一人を特別な人間にするから。」と伝える。これからそれぞれの考え、アイデア、感情がつまった宝箱を作ることを説明する。
- ・ 宝箱を作るための箱を与える。それぞれのやり方で箱を飾り付けるために使う素材、道具を見せる。その後、子どもたちはアイデアを文字や絵にして、その紙を宝箱に納める。
- ・ プライバシーについて子どもたちと話し合う。宝箱はプライベートなもので、勝手に他人の宝箱をのぞいてはいけないことを説明する。ただし、それを十分に理解する時間をとったあと、もし子どもたちが望むなら、彼らの思考、アイデア、感情をクラスメイトと共有することもできる。

その他：

- ・ 宝箱作成前、子どもたちに、物語を伝えたり、簡単な問いを示すこともできる。

例)

もし自分と友達が同時に同じおもちゃを使おうとしたらどうする？

もしお母さんが、やる事が全部終わるまでテレビを見ちゃいけないと言ったら？

もし自分の上着をどこにおいたか忘れてたらどうする？

こうした問題に対し、どれくらい異なる解決策が思いつくか問いかけるのもよい。

↓ 宝箱の例



【メモ】

Q. どんな力が伸ばせるか？

Q. 保育園で展開するとしたら？

【自己理解】

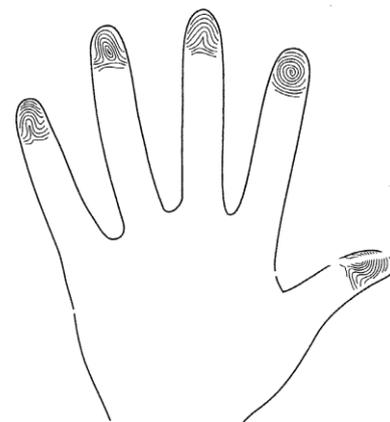
3. 指紋スタンプ (fingerprints) 小グループ

目的：それぞれの違いを際立たせるため、指紋セットをつくる

道具：スタンプパッド（朱肉など）、紙、虫眼鏡、筆記用具

手順：

- 活動を紹介する。指紋は個人を特徴づける数あるもののひとつで、自分の指紋は世界に一つしかないことを伝える。
- 指紋のプリントを作る手助けをする。手の形をかいた紙を渡す。（手の形をそれぞれに書かせてもいい。）
まず、一本ずつ、スタンプパッドに指をつけ、次に紙に指紋をつける。できあがった紙を虫眼鏡で見る、お互いの指紋の共通点や違う点を見つけるなどを促す。
- 完成した全員の指紋を集め、（できれば拡大）コピーする。子どもたちに指紋を分類するよう促す。渦巻き型・アーチ型・輪っか型の形をした指紋がいくつつあるのか示すことができるだろう。



その他、バリエーション：

- 指紋を使って絵を描く
- 手のひらや足の裏のスタンプを作る。

【メモ】

Q. どんな力が伸ばせるか？

Q. 保育園で展開するとしたら？

【自己理解】

4. シルエット描き遊び 大グループ

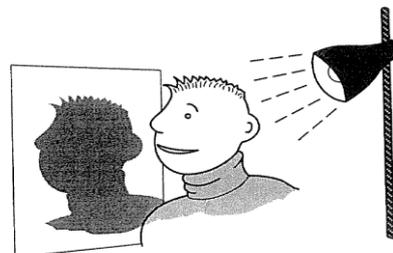
目的：新しい見方を得るため、シルエットをつくる

道具：紙、チョーク、ランプ、色画用紙／色つき紙、はさみ、マスキングテープ、のり

手順：

紙を壁に貼る。壁の前で子どもに座ってもらう。右図のように子どもの頭のシルエットができるよう、光をあてる。

- ・ チョークで影の輪郭をなぞる。はさみで切りだし、色画用紙の上におく。
- ・ 終わったら全員に見せる。どれが誰のシルエットか当てるゲームもできる。



その他：

- ・ 影を使った活動の発展形として、以下のような問いを投げかけることもできる。
どうやったら自分を悲しい／楽しい／怖がってる／ように見せられる？
友達と協力して、どうやったら二つの頭／二つの鼻／三つの手をもつ人間を作れる？
友達と協力して、どうやったら友情／怒り／驚きを示すイメージを作れる？
- ・ シルエットをコラージュに使うこともできる。(参考：1、コラージュレジュメ(履歴書))

【メモ】

Q. どんな力が伸ばせるか？

Q. 保育園で展開するとしたら？

【自己理解】

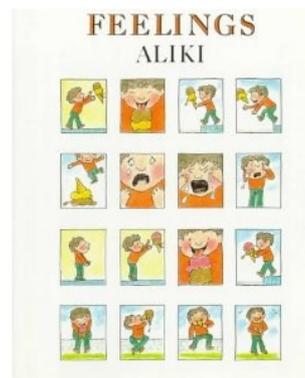
5. 感情の車輪遊び (wheel of feelings) 小/大グループ

目的：自身の感情を特定し、表す言葉を学ぶ

道具：マス目つき模造紙とマーカー (or 黒板とチョーク)、紙、クレヨン、
感情についての本

手順：

- ・ 感情についての本を読む。例) Aliko 著「Feelings」
 - ・ 模造紙または黒板に大きな円を書き、6または8分割する。
これは「感情の車輪」であることを説明する。読んだばかりの異なる感情について名前をつけてみるよう促す。1部分につき1つの感情が入る。以下のような状況での感情を聞いてみてもよい
 - 友達に「あっちいけ」と言われた
 - 転んだときに誰かが助けてくれた
 - 兄弟姉妹がプレゼントをくれた
 - 学校に初めて行く日
 - ・ 車輪ができたら、どれか一つ感情を選び、希望者に、それを自分が感じる時や、他人にそれを感じさせるような状況を演じてもらう。
 - 例)
 - 怒りを感じる時はどんな時？
 - もし友達が自分のお気に入りのおもちゃを間違えて壊したら？
 - ・ 話し合う。演じてもらった状況で、本当に全員が同じように感じるのだろうか？(例のような状況なら、悲しんだり、許したりするかもしれない)
 - ・ 演じてくれた子に、対応する部分を、その感情を表しているような色で塗ってもらう。
 - ・ 後日、別の感情を取り上げ、同じ活動を行う。
- その他、バリエーション：
- ・ 子どもたちにリストを書いてもらい、個々のフォローアップができる。
例えば、「私は、_____時、悲しいと思う。」(他にも怒る、幸せ、寂しい時など)といった質問を書いた紙を1枚渡し、それについての絵や言葉を書いてもらう。
必要なら書くのを手伝う。できたら家で親に読み聞かせるよう促す。
 - ・ 自分自身の「感情の車輪」を作るよう促す。



【他者理解】

1. 顔認識 (face recognition) 小グループ

目的：互いを学ぶ

道具：1人につき2枚の写真

手順：

- ・ 全ての写真を裏返して床／テーブルに並べる。神経衰弱と同じ要領で活動を勧めていく。つまり、1人ずつ順に2枚の写真を表向きにし、それが同じ人物のものだったら、写真を得てもう一度めくることができるが、違ったら元通りにして次の人に移る。一番写真を集めた人が勝ちとなる。2～4人で進めるのがよい。発展形として、2枚の写真を、異なる年齢／異なる向き／帽子の有無にすることもできる。

その他、バリエーション：

- ・ 同じ距離から子どもたち全員の写真をとり、同じサイズでコピーして上で、以下2つの方法で顔パズルをつくることもできる。

A：写真を拡大コピーし、子どもたちにそれを4、5個に自由に切り分けてもらい、元通りできるかグループでチャレンジ。

B：写真を拡大コピーし、子どもたちにパーツごとに切り分けてもらう。友達の写真と部分を交換して、それぞれの特徴を比べるなどして遊ぶ。最後に自分の顔を再構築して終了。

【メモ】

Q. どんな力が伸ばせるか？

Q. 保育園で展開するとしたら？

【他者理解】

2. いない人当てゲーム 小グループ

目的：お互いを学ぶゲーム

道具：ストップウォッチ、目隠し、毛布（あれば）

手順：

- 子どもたちに、円になって座ってもらう。探偵役と選択者（兼タイムキーパー）を選ぶ。
- 探偵役は目隠しする。選択者に1人子どもを選んでもらい、選ばれた子は部屋から出るか毛布の中に隠れる。他の子どもは座る場所をすばやく変える。
- 探偵役は目隠しを取り、一分以内に誰がいなくなったのかを当てる。探偵役はいなくなったメンバーについての質問ができる。終わったら探偵役を交代して次のゲームへ。

その他、バリエーション：

- 希望者は円の真ん中に立つ。子どもたちは30秒間、その子の見た目について自由に発言する。その後周りが目を閉じている間に、真ん中の子は一つ変化を加える。（時計が逆の手など）みんなは、どこが変わったのかを当てる。

【メモ】

Q. どんな力が伸ばせるか？

Q. 保育園で展開するとしたら？

【他者理解】

3. 糸電話 大グループ

目的：コミュニケーションの複雑さを学ぶ

道具：紙コップ、糸、プラスチック管、じょうご、缶、大きな段ボール箱、
マス目つき模造紙とマーカー（または黒板とチョーク）

手順：

- 円形になって座ってもらい、伝言ゲームを行う。（少し難しめがよい？）最後の人は大声で文章を叫ぶ。最初と最後の文章を比べ、もし変化があったならどうして変わったのか、そしてより明確に伝わる方法を考える。模造紙または黒板に書く。
- 次は、文章の代わりに特定の音を伝えてもらう。（猫の鳴き声、赤ちゃんの泣き声、ドアの呼び鈴など）最初の人は両側に伝える。両方から伝わった人は、同じか違うか発表する。
- 次は、表情を伝えてもらう。（順番がきてタップされるまで目を閉じさせた方がよい）最初と最後の人が表情を同時にグループに見せ、同じか違うか話し合う。

その他、バリエーション：

- 糸電話を使ってもよい。複数人と会話できる糸電話や、段ボールで電話ボックスを作るなどし、自由に状況を考えさせながら遊ぶことも可能。



【メモ】

Q. どんな力が伸ばせるか？

Q. 保育園で展開するとしたら？

【他者理解】

4. 友達 大グループ

目的：クラスメイトについて学び、友情について考える

手順：

- 「The Giving Tree」を音読し、話し合う。（訳注：日本語版はこちらから↓

(http://homepage3.nifty.com/gotu_web/variety/comic/tree/tree01.htm)

友達って何だろう？

なんで親友っていえるんだろう？

どうやって友達をつくる？

友達がいるとどんな楽しみがある？

あなたが誰かに怒ったとき、その人は友達でいてくれるかな？

なんで友達と喧嘩するんだろう？

どうやって友達と仲直りする？



- 代表者（複数）を選び、クラスの友達について、名前を出さずに紹介してもらおう。（好きな遊具を指す、得意なことや性格など）クラス全員で聞き、誰か当てる。

その他、バリエーション：以下2つの活動は単体または他の活動と組み合わせて行う。

A：友情の輪を作る。クラス全員、紙の輪を作り、教室の端から端まで並ぶ。教師は、誰かにいいことをしているのを見つけたらそれを付箋に書き、その子の持つ輪にはっていく。

B：ペアになり、全員で輪になり座る。ボールを時計回りに回す。教師はドラムをたたき、それが止まったとき、ボールを持っている子はペアの子のよいところをひとつ紹介する。

【メモ】

Q. どんな力が伸ばせるか？

Q. 保育園で展開するとしたら？

【他者理解】

5. 指人形 小グループ

目的：社会的状況を再現する人形を作る

道具：古い手袋、フェルト、マーカー、のり、はさみ

手順：

- ・ 古手袋の指部分を切り離す。子どもたちに、想像上の人物／実在の人物を模して指人形を作ってもらおう。（自分、家族、友達など）顔や衣服はマーカーやフェルトで。
- ・ 指人形を使い、教室内でよくある状況を再現してもらおう。ぶらんこの順番待ちやおもちゃを一緒に使う時、遊びを一緒に計画している時など。教師が問いかけることもできる。これは教師が気になっている問題を、強圧的でなく、子どもたちに考えさせるよい機会だ。
- ・ 慣れてくれば、子どもたち自身に注意すべきことや解決策を書いてもらうこともできる。色々な状況を想像してもらおう。指人形は他の遊び・活動でも使えるので取っておく。

その他、バリエーション：

- ・ 他のもので人形を作らせてもよい
- ・ 段ボールを使い、指人形劇場を作ってもよい

【メモ】

Q. どんな力が伸ばせるか？

Q. 保育園で展開するとしたら？

【他者理解】

7. 物語の問題解決 (story problems) 大グループ

目的：物語を聞き、中心的な問題の解決策を話し合う

道具：子どもと教師の写真

手順：

- 例えば以下のような物語を聞かせる。

「Moral Child: Nurturing Children's Natural Moral Growth」より

例)

「あるクラスの話です。(写真を見せながら) ある時先生は午後の時間お絵かきをするように言いました。先生はその絵を、学校祭りで売るのがいいだろうと考えました。絵は全て売れ、クラスはたくさんのお金を得ました。子どもたちは次の日集まって、お金をどう分けようか決めようと思いました。」

- 以下のような問いかけをする。

このクラスはお金をどうすべき？

お絵かきの時間ふざけていた子が何人かいます。彼らにもお金を分けるべき？

貧しい家庭の子に多くのお金を分けるべきとの意見があります。どう思う？

クラスで一番上手い絵を描いた子が一番多くのお金を得るべき？

最初に絵の販売を考えたのは先生だから、先生が一番多くのお金を得るべき？

何が何でも全員均等にお金を分けるべきとの意見もあります。賛成する？

- 同じことをこのクラスで行ったら、お金をどうするべきか考えてみる。

【メモ】

Q. どんな力が伸ばせるか？

Q. 保育園で展開するとしたら？

【他者理解】

8. 病院ごっこ 小グループ

目的：職業ロールプレイを通しコミュニティについて考える

道具：演劇道具（病院で使うようなもの）

手順：

- クラスの角に集まってもらい、そこをこれから数週間病院の部屋にする。病院がどんなところで、なぜ人々がそこに行くのか話し合う。可能なら直接訪問／本を読み聞かせる。
- 病院で働く人の仕事を考えてもらい、模造紙に書き出していく。それらの仕事について説明してもらい、働こうと思っている人に求められる資質について考えてもらう。女性の医者、男性の看護師はあり？性別は職業選択に関係ないことを補足する。親が病院で働いてる子がいたら、全員の前で話してもらう。
- 教室内の、病院に関連した衣装、アクセサリ、おもちゃ、道具を集めてもらう。また家にありそうなものを書きだしてもらい、借りてくる。
-
- 後日道具がそろったら、子どもたちに自分たちでどうやって病院を作るか考えてもらう。
- 当初指定したエリアを病院とし、グループごとに働く人の役を分担していく。これを何日か続ける。

その他：

病院はコミュニティにおける職業について考えるための一つの手段にすぎない。他にも、レストランや雑貨店（宝石や美術品も）など、子どもたちが興味ありそうなものを選んでよい。

【メモ】

Q. どんな力が伸ばせるか？

Q. 保育園で展開するとしたら？

【社会的役割】

1. クラスの人口調査 小グループ

目的：クラスメイトについて学ぶ

道具：紙、鉛筆、レコーダー、マス目つき模造紙とマーカー（または黒板とチョーク）

手順：

- 国勢調査の概念を紹介する。調査をどうやって進めるか子どもたちと話しあう。
- 調査質問用紙を作ってもらおう。

調査質問例：

クラスの男子数は？女子数は？歩いて学校に来る子の数は？

バスに乗ってくる子の数は？きょうだいがいる子の数は？

ペットを飼ってる子の数は？同じ誕生日の子の数は？

野球／水泳／読書／算数に興味ある子の数は？引っ越してきた子の数は？

- 調査の結果を基に、グラフをつくる。グラフは本や展示にする。

その他、バリエーション：

- この活動は数日間かけて行ってもよい。
- 調査結果をTV番組風に発表してもらってもよい。
-

【メモ】

Q. どんな力が伸ばせるか？

Q. 保育園で展開するとしたら？

【社会的役割】

2. 誕生日パーティー 小グループ

目的：誕生日パーティーの企画を通じ、異なる役割を担う練習をする

道具：マス目つき模造紙とマーカー（または黒板とチョーク）

手順：

- ・ 今月誕生日をむかえるクラスメイトのために、誕生日パーティーを企画してもらう。

以下のような問いかけをする。

なぜパーティーが必要？

パーティーをやるならどの日のどの時間がベスト？

どんな食事があるといい？

誰が準備する？

パーティーに必要なものって何がある？

誰が持ってくる？

誰が掃除する？

パーティーのテーマって必要？

夏休みの間に誕生日がある子たちに何をすべきだろう？

- ・ 子どもたちが何をやるか決めたら、仕事の分担をリスト化する手助けをする。

その他：

- ・ このプロジェクトは年間通じて行える。介護とに役割を変えるよう促すのもよい。
- ・ 計画中は適切な選択ができる用意選択肢を与え選ばせることも必要。

【メモ】

Q. どんな力が伸ばせるか？

Q. 保育園で展開するとしたら？

【社会的役割】

3. 他クラス訪問 (Visitor' s day) 大グループ

目的：グループディスカッションを通じ代替案を評価する

道具：マス目つき模造紙とマーカー（または黒板とチョーク）

手順：

- 他学年の子どもたちを自分たちの教室に招く。どうやったら興味を持ってくれるかを考える。例えば、クラスメイトについて説明する方法を考えたり、自分たちも小学校を訪問して学ぶなど。
- ブレインストーミング。グループに分かれ、各グループは知ってほしいポイントを3つ絞って発表する。そして当日に向けて準備を進める。

その他、バリエーション：

- 自分自身や家族についても、人に伝える時大事な3つのポイントを考えてみる。

【メモ】

Q. どんな力が伸ばせるか？

Q. 保育園で展開するとしたら？

【社会的役割】

4. チームでチャレンジ！（we are a team）小グループ

目的：目的達成・問題解決の為に協働することを学ぶ

道具：空のビン、動物消しゴム、糸、フラフープ、パズル、カレンダー、ロープ、目隠し、

手順：☆様々なチャレンジがあり、成功のためにはチームで協力することが必要と伝える。

- 動物を救え

4つの動物消しゴムそれぞれに糸を通し、ビンの中に入れておく。糸は口から出す。

子どもたちは4人のチームに分かれてもらい、チームに1つピンを渡す。

スタートの合図から、一番早く全ての消しゴムを外に出せたチームの勝ち。

※ピンの口は、消しゴムが一つずつしか通れない広さのものを用意する。

- フラフープホップ

子どもたち全員に手をつないで円を作ってもらおう。

一人の子の肩にフラフープをかける。

手を使わず全員がフラフープを隣に回し1周すれば成功。

- 架空のプレゼント

4~6人ずつのグループに分かれ、円になってもらう。

1人が左隣の子に架空のプレゼントをあげる。ジェスチャーのみで、言葉はなし。

隣の子はプレゼントを当てる。周りに子どもも助けていいがジェスチャーのみ。

当たったら、その子は別のプレゼントを隣にあげる。

- パズルチャレンジ

3~4人ずつのグループに分かれる。適度なパズルを配る。

言葉を使わず、チームで協力してパズルを解いてもらう。

- ブロックチャレンジ

小グループに分かれる。ブロックを配る。

言葉を使わず、どれだけ高くブロックを積めるか挑戦。高さを記録し、数回挑戦。

失敗から学び成長できるか？

- 誕生日はいつ？

一列に並んでもらう。言葉を使わず、誕生月順に並び変わってもらう。

同じ誕生月の人は横に並んでもらい、誕生日順にならなくてもよい。

- 図形を一緒に作れる？

3~5人のグループに分かれる。ロープを1本配り、全員目隠しをする。

そのまま、ロープで指定された図形を作れるかチャレンジ。(△、L、□など)

その他：

- ・各グループごとに、どんな作戦を用いたのかを発表してもらう。
- ・活動ごとに各個人の役割がどう変化したのか観察する。それは活動固有なのかグループ内のメンバーによるのか。今後のクラス運営を考える参考になるだろう。

【メモ】

Q. どんな力が伸ばせるか？

Q. 保育園で展開するとしたら？

【家庭活動】

1. 自分の物語づくり

目的：自分の成長を実感する手助け

道具：子ども自身の写真、子ども自身が描いた絵、書類や事物、模造紙、厚紙、ペン

手順：

- 子どもの年代ごとの特徴を視覚的にあらわす、ものや情報を集めておく

例)

出生証明書、生まれた時の足形、誕生時の身長体重、身体的成長をあらわす写真（はいはい、歩き、走り、外遊び、一人で服を着る、自転車、靴ひも結び）、認知的成長をあらわす写真（おしゃべり、絵本読み、複数のおもちゃで遊ぶ、コンピューター使う）、社会的成長をあらわす写真（家族、友達、記念日、幼稚園）、子どもが描いた絵や文章

- ライフストーリーについて話し合い、各年齢を最も表す写真や絵を選んでもらう。それを年齢順に並べ、本のようにする。飾り付けも促す。完成したら子どもと一緒に振り返る。

※クラスで発表してもよい

【メモ】

Q. どんな力が伸ばせるか？

Q. 保育園で展開するとしたら？

【家庭活動】

2. 顔の表情づくり遊び

目的：表情をみて人々が何を感じるか考える手助け

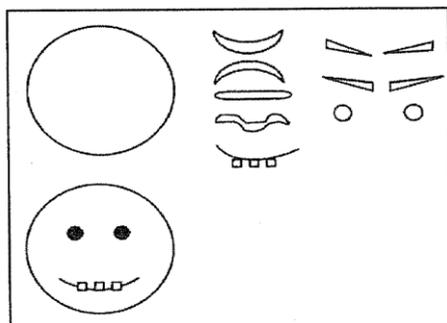
道具：色のついた紙、はさみ、のり、

手順：

- 右図のように目（喜び、悲しみ）、口（笑顔、しかめつら）等のパーツを切り出す。子どもに、幸せ、悲しみ、怒り、恐怖、退屈、眠い等の感情を表す顔を作ってもらおう。指示するか、自分でどんな感情があるか考えて作ってもらおう。書き込みもあり。
- なぜこの感情を感じているか想像して語ってもらおう。
- 色々な感情を感じる状況を想像し話し合う。
 どんな時自分を誇りに思う？（他の感情もあり）
 誕生日パーティーの時どう感じた？（他の状況もあり）
 他の人が悲しそうなとき、あなたはなんて声をかける？（他の感情もあり）

※クラスで発表してもよい

※クラスで顔を使って表情あてゲームもできる。



【メモ】

- Q. どんな力が伸ばせるか？
 Q. 保育園で展開するとしたら？

3) 次回の勉強会予告

◆日時：2010年10月2日 or9日 or16日 or23日（土）16時から（予定）

◆内容：MIにおける「社会性」について～評価編～

Project Spectrum: Preschool Assessment Handbook (Project Zero Frameworks
for Early Childhood Education, Vol .3)